

# 看護いばらき

No.124 2019年  
3月31日

公益社団法人  
茨城県看護協会  
Ibaraki Nursing Association



☆トピックス☆

P2～3 平成30年度  
茨城県看護研究学会

## CONTENTS

- 2 平成30年度茨城県看護研究学会
- 4 地域包括ケア病棟の紹介（水戸済生会総合病院）
- 5 シリーズ「仕事をしていて、こころに残った一言」
- 6 保健師職能委員会ニュースレター
- 8 訪問看護ステーション機能強化事業報告
- 9 2019年度訪問看護支援事業研修
- 10 第55回いばらき看護の祭典の案内、  
第11回いばらき看護職合同進学就職説明会報告
- 11 看護師等の離職時等の届出制度忘れずに届出願います、  
ナースストリートのご案内
- 12 平成30年度理事会報告

### 会員数

（平成31年3月18日現在）

合計 14,923人

保健師 358人

助産師 536人

看護師 12,972人

准看護師 1,057人

# 平成30年度茨城県看護研究学会

～地域とリンクする看護の力～

日時 平成30年12月19日(水)

場所 茨城県立県民文化センター 小ホール

参加者 343名

昨年度末に第7次保健医療計画、第7期いばらき高齢者プラン21、第2期身障者プランが作成され、地域医療構想に基づく地域包括ケア推進が本年度4月より始動している。そのような社会変化に対応するため「地域とリンクする看護の力」というテーマで開催されました。



## 特別講演 「乳腺疾患と生殖医療～地域につなぐ医療～」

講師 坂東 裕子 筑波大学 医学医療系 乳腺内分泌外科 准教授

座長 渡辺美香子 水戸ブレインハートセンター 看護部長

まず初めにサバイバーシップについてのお話がありました。乳がん患者全体の中で35歳以下は全体の2%以下というデータがあり、若いということでこれからの生活、仕事や結婚・出産についてなどさまざまな問題が出てくる。その問題を踏まえたうえでどう治療を行っていくのか、また、治療を続けて行く上で再発、ACP・緩和ケア、抗がん剤治療が出来なくなってきたときなどに出てくる問題など、多岐にわたる話をされていました。女性に感心があるテーマということもあり、真剣に講演を聴いている人が多くみられました。



小ホールにて□演発表 19 演題  
集 会 室 にて示説発表 9 演題  
がありました。

### <発表者の声>

- ・研究をまとめるにあたっては、スタッフの助けが大きかった。他の演題にもこれから病棟で取り入れられることがあったので、取り入れていきたい。
- ・質問された事は、自分も疑問に感じた所だった。他の演題でも自分が気づかない所に気づかされたりしたので、良い機会だった。
- ・今回の研究の動機は、せっかく研修に行っているのに、可視化されていなくもったいないという気持ちからだった。スタッフも協力してくれて、研究後もスタッフ間で声かけしあっているのでもとても良かったと思う。
- ・研究をまとめるにあたって、困ったことは共同研究者と勤務が合わなかったこと。研究で結果が出ていない項目も、これからも研究を続けていきたい。



### <参加者、看護学生にインタビュー>

- ・自分も看護研究を行なう上で、学びを深めることができた。研究発表を聞いて得た事を、今後の業務にも活かしたいと感じた。
- ・病棟の看護師が日々の看護の中で見つけた問題点や、それに対する研究に興味があった。
- ・臨床に出て病棟で働くようになった時に、今回の発表で学んだ問題の提起や結果から、取り組みを参考にさせていただき、知識・技術の向上につなげていきたい。



取材者：木村 佐川



# 地域包括ケア病棟の紹介

## 水戸済生会総合病院

茨城県水戸市双葉台3丁目3番10

☎ 029-254-5151

地域包括ケア病棟

石川 知加子



当院は、水戸地区にある中核病院で、ドクターヘリやドクターカーを運用した三次救急病院として高度医療を行っています。また、地域医療支援病院としても、地域に密着した医療を提供する役割を担っています。そして、済生会としての使命である生活困窮者への援助も積極的に行なっている病院です。少子高齢化社会となり、地域住民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅支援を行い安心して退院を目的として、2016年6月に地域包括ケア病棟(30床)を開設しました。

地域包括ケア病棟は、当院の急性期の患者を受け入れるポストアキュート機能を主に行っています。昨年度の病床利用率は80%、平均在院日数は16日、在宅復帰率は89%でした。入院患者の70%は整形外科疾患患者ですが、その他、循環器疾患や消化器疾患など多くの診療科の患者も利用しています。地域包括ケア病棟の患者は、病状が安定した患者ばかりでなく、急性期から早期に転棟してこることもあり、重症度、医療・看護必要度は平均20%と高値となっています。そのため看護師は、急性期からの治療や看護を継続的に行える知識と技術が必要であり常に向上に努めています。

病棟のスタッフは、病棟管理医師1名、看護師14名、看護助手2名、病棟クラーク1名、専従の理学療法士が1名、専任の理学療法士が2名と作業療法士1名、在宅支援看護師と医療ソーシャルワーカーで構成されています。私たちは、患者と家族が、退院後も安心して生活ができるよう、一人ひとりのニーズや課題について、それぞれの専門職が専門的な視点から意見を出し合いカンファレンスを行っています。また、在宅介護が安心して受けられるよう、ケアマネージャーや訪問看護師を招いてのカンファレンスも行っています。

病棟では、自立した生活を目指すための機能訓練を行っています。リハビリスタッフと一緒に、段階に応じた歩行訓練や手指の機能訓練、認知機能の向上を目指した作業などを行います。しかし、リハビリテーションに消極的な高齢患者もいるため、リハビリスタッフは、飽きずに楽しみながら行えるよう日々工夫をしています。看護スタッフも、患者がベッドからなるべく離れて生活が出来るように食事や清潔ケア、排泄などの援助を行います。このような日々の援助によりADLの拡大が図れ、患者が自分らしい暮らしに近づくことができ安心して退院を迎えることができます。

今後は、地域医療支援病院として更なる役割を果たすため、地域で暮らす患者の受け入れを行うサブアキュート機能を充実させていきたいと考えています。これからも地域の住民に愛される病院を目指してスタッフ一同笑顔と優しさを忘れずに最善を尽くしていきます。



# 仕事をしていて、こころに残った一言

「いつもありがとう」

私が新人だった頃、いつも6時になると「白湯が飲みたい」とナースコールする寝たきりの患者さんがいた。私は「忙しいときに・・・」と思い、その後はナースコールがあったらすぐ飲めるようにと、そっとベッドサイドに白湯を準備することにした。

いつものようにナースコールが鳴り訪室すると「いつもありがとう」と言われた。お礼を言われて、患者さんはもっと早い時間から起きているのに6時まで待っていてくれたことに気づいた。それと同時に、面倒だと思っていた自分が恥ずかしいと感じた。



それからは、相手の気持ちに寄り添う対応を心掛けるようになった。そうすることで心に余裕ができ、患者さんとかかわることが楽しくなり、笑顔で接することができるようになった。

茨城県立医療大学付属病院 市村ひろみ

CCUに異動となり失敗と苦悩の日々。自分がめざす看護ができないと無力に感じていたとき、退職する後輩が私に伝えてくれた言葉。「あなたと一緒に働いて看護するってことを改めて学びました」と。看護の限界を自分で決めつけていた私。どんな場所でも自分のやりたい看護はできる。私の意識を変え、見失いかけていた看護の本質に改めて気づくきっかけをくれたこの言葉に、私は今も支えられています。

株式会社日立製作所 日立総合病院 中野由香里

## 募集

「仕事をしていて心に残った一言」  
その一言があってから頑張っている  
その一言で、看護観が変わった  
その一言で、救われた

2つのエピソードありがとうございます。  
これからもどんどん「看護いばらき」で  
紹介させていただきます。

## 応募要項

今まで行ってきた看護の場面で、患者さま、ご家族、他の医療従事者などからもらった、心に残った言葉・体験を募集しています。

投稿していただいたものを「看護いばらき」で紹介させていただきます。

対象は、茨城県内で就業している看護職の方です。  
氏名、看護職歴、施設名を記載してください。  
(匿名での掲載も可能です)

原稿は、300文字以内でお願いします。

郵送先 310-0034  
茨城県水戸市緑町 3-5-35  
茨城県看護協会 広報委員会 宛

メール先 ibakango@olive.ocn.ne.jp

# 保健師職能委員会ニュースレター

2019.3

## 今年度の保健師職能活動を振り返って 職能委員長 大森美恵子（日立市役所）

日頃から、委員会活動にご参加、ご協力いただき感謝します。

昨年行いました加入促進アンケート調査等を踏まえ、今年度から新任保健師研修が新たに協会の教育事業に位置付けられました。

また、恒例となりました保健指導ミーティングや災害時保健活動研修において、活動領域を超えた保健師等の受講があり好評です。

これからも、皆様に役立つ内容が提供できるよう、委員一同、力を合わせて頑張っております。



## 研修会報告1 『保健師の資質向上に関する研修会』

平成31年1月25日(金)

### ◇目的

被災時に避難所で起こりうる様々な出来事への対応をゲーム感覚で学ぶことで、保健師として災害への備えと災害時の役割を構築することを目的として下記のとおり開催しました。

### ◇内容

「HUG 避難所運営ゲーム体験会」

講師：茨城県生涯学習センター・茨城県女性プラザ  
生涯学習課 社会教育主事 羽鳥 公寿 氏

### ◇参加人数：保健師・看護師 25名

非難所の運営を考えるための一つのアプローチとして静岡県が開発した避難所 HUG を用いて災害発生時の避難所の運営について学びました。

HUG では、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれた 250 枚のカード

を活用し、避難所の体育館や教室に見立てた平面図に配置していきましました。次々とやってくる地域の方々、要支援者や外国人、ペット、旅行者などの来所に戸惑いながら、適切な配置を考え、避難所で起こる様々な出来事への対応を模擬体験しました。

体験を通じ、平時の備え、訓練、役割の明確化、地域との連携などが大切だとの意見が聞かれました。



## 研修会報告②

### 保健指導ミーティング 『保健指導スキルアップ研修会』

平成30年10月3日(水)

- ◇目的：新任期及び指導保健師のスキルアップと、効果的な個別事例のアセスメントを学ぶことを目的として下記のとおり開催しました。
- ◇内容：そうだ！事例検討をしよう！「実践力UP 事例検討会」～みて・考え・理解して～  
講師：つくば市健康増進課 小野村順子統括保健師
- ◇参加人数：保健師・看護師 54名
- ◇総括：保健指導ミーティングの手法を用いた事例検討会の実施をとおして「今後職場でできるか」という問いに、91%ができると回答がありました。現場では、処遇困難事例も多く、ケースを一人で抱えるのではなく、チームで支援していくことの重要性や保健師のアセスメント能力強化につながりました。



## 地域包括ケア情報交換会

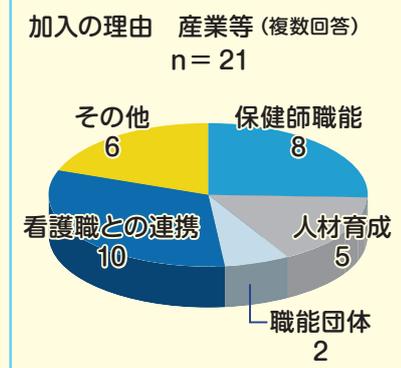
平成31年3月19日(火)

- ◇目的：地域包括ケアの推進状況やあるべき姿について共有を図る。
- ◇内容：情報提供「保健師として地域包括ケアをどう推進していくべきか～北茨城市コミュニティケア総合センター「元気ステーション」の取組から～」  
講師 根本愛子氏 北茨城市社会福祉協議会総合健康支援課長  
情報交換「自組織における地域包括ケアの取組について」
- ◇参加人数：保健師・看護師 14名
- ◇総括：情報提供をもとにグループに分かれて情報交換を行い、共通の悩みや課題等を共有したあと、講師から講評をいただきました。深化が求められている地域包括ケアの推進に向け、生活者の視点で、他職種等との関係づくりや地域づくりを行っていくことの大切さを再認識しました。



## 平成30年度 茨城県看護協会加入促進に向けたアンケート調査について (報告)

- ◇対象 看護協会の会員で施設代表者になっている方
- ◇期間 平成30年12月27日～平成31年1月18日
- ◇内容 加入・未加入の理由、加入促進の取組など
- ◇回収率 54.4% (49 / 90)
- ◇結果 回答した施設代表者の協会加入率は93.9%と高く、産業等保健師の加入理由では市町村・県に比べて、「看護職との連携を深めるため」が最も多かった。加入促進に向けた各施設での取組や委員会活動に対する意見も多数いただいた。ご協力誠にありがとうございました。



平成30年度訪問看護ステーション機能強化事業  
「認定看護師等の派遣による困難事例に対する取組支援」

## 成果報告会を開催しました

日時：平成31年3月5日（火）  
19：00～20：30  
場所：茨城県保健衛生会館 2階 研修室C



茨城県看護協会では、訪問看護ステーション内では解決が難しい事例に対して、専門的な医療知識を有する者と訪問看護師が連携し、訪問看護サービスの質の向上を図る事を目的とした事業をおこなっています。

褥瘡に対する同行訪問について、平成30年度の実績成果の一例をご紹介します。

### 皮膚・排泄ケア認定看護師



利用者家族

訪問看護師

体圧分散寝具を使ってしっかり圧を分散できていれば、体位変換は4時間ごとで大丈夫。夜間は体位交換の必要はありません。  
バスタオルは敷かないで、シーツも過度にピンと張る必要はありません。  
おむつは尿量に合ったものをきちんと身につければ、夜間はおむつ交換のために起こさなくてもいいですよ。

褥瘡は、今まで毎日消毒や処置をしていました。感染兆候がなければ、週に3回程度でいいなんて。最新の専門的な知識を習得出来て、しかも、今まで過剰なケアで悪化させていたとは思いませんでした。認定看護師に気軽に相談でき、新しい知識や技術を教えてもらったので、実践していきたいです。

2時間ごとに体位変換が必要で、夜中も何度も起きてお世話をする必要がありました。

でも、おむつも夜中は交換しなくていいし、朝まで向きを変える必要もないのですね。

実は最初はお母さんを家で看取ってあげようと張り切っていたのですが、最近ちょっと疲れ気味で、仕事を辞めようかと思っていたのですが、これなら続けられます。

茨城県内の約7割の訪問看護ステーションが中小規模で、専門的な知識を学ぶための機会を独自に確保することは難しく、地域単位で医療資源を有効に活用する必要があります。

そこで、認定看護師や専門看護師の方は、この取組に参加してください。また、訪問看護ステーションの方は、この取組をぜひ活用してください。

問い合わせ先：茨城県看護協会 在宅支援推進部  
Tel：029-221-6900 事業担当 出野



# 【2019年度 訪問看護支援事業研修】

※詳細については、茨城県看護協会ホームページ <https://www.ina.or.jp> で確認の上、研修No 101、103～109は《様式 13,14,15》を使用しFAX、郵送にてお申し込みください。

※研修No 102は eラーニング専用アドレス [e-learning@ina.or.jp](mailto:e-learning@ina.or.jp) へお申し込みください。

研修番号	研修名	日程 日数	研修会場 定員	目的	参加条件	資料代等 (円)	応募 期間
101	訪問看護入門 プログラム	12月7日(土) 12月8日(日)  2日間	看護研修 センター  30名	訪問看護に関心のある看護師等が、訪問看護に必要な初歩的知識と技術を理解する 訪問看護未経験でも「自分も訪問看護ができそうだ」「やってみよう」という気持ちになれる	訪問看護に興味・関心のある看護学生、看護職等	無料	10/1 ～ 10/31
102	訪問看護師養成講習会 ①eラーニング ②講義・演習(集合研修) ③実習	6月12日(水) ～ 11月27日(水)  ①13単位 ②6日間 ③3日間	看護研修 センター  40名	訪問看護に携わる看護師等が、訪問看護に必要な基本的知識と技術を習得し、質の高い訪問看護を提供する	訪問看護に従事または従事を希望する看護職  ※専用申込書： HP参照 FAX、郵送不可	15,000 (eラーニング 受講料： 14,000 演習、実 習費： 1,000)	3/20 ～ 4/19
103	在宅療養・訪問看護 推進研修 －訪問看護同行研修－	6月12日(水) ～ 11月27日(水)  6日間	看護研修 センター  30名	医療機関に勤務する看護師等が、在宅で訪問看護を利用する療養者及びその家族のもとへ、訪問看護師と同行訪問することにより、在宅療養の理解を深め、入退院支援・調整の推進を図る	医療機関等に勤務する看護師等で、地域連携や退院支援・調整に関わる又は関心のある者	3,000	4/1 ～ 4/30
104	訪問看護ステーション 管理者養成研修	10月19日(土) ～ 1月25日(土)  7日間	看護研修 センター  10名	訪問看護ステーションで管理に携わる看護師等が、訪問看護の経営・マネジメントに必要な知識を習得することにより、管理者の資質の向上を図ることができ、質の高い組織的訪問看護サービスを提供する	訪問看護ステーションで管理に携わっている者、又は今後管理を担当する者 医療施設の訪問看護部門の責任者	3,000	8/1 ～ 8/31
105	訪問看護師指導者 養成研修	10月16日(水) ～ 1月22日(水)  4日間	看護研修 センター  20名	訪問看護に携わる看護師等が、管理者とともに職員一人ひとりの教育及び評価ができる能力を習得し、人材育成ができる	訪問看護ステーションで職員の指導にあたる者または候補者	3,000	8/1 ～ 8/31
106	訪問看護専門分野研修 (小児・重症心身障 がい児)	8月30日(金) ～ 11月29日(金)  6日間	看護研修 センター  20名	難易度の高い看護ニーズを持つ小児の訪問看護に携わる看護師等が、小児・重症心身障がい児看護の専門的知識及び技術を習得し、質の高い訪問看護を提供する	在宅療養者への訪問看護に従事又は従事を希望する看護師	3,000	6/1 ～ 6/30
107	訪問看護専門分野研修 (難病)	8月19日(月) ～ 10月30日(水)  5日間	看護研修 センター  20名	神経難病を抱える在宅療養者に関わる看護師等が、神経難病看護の専門的知識及び技術を習得し、質の高い訪問看護を提供する	在宅療養者への訪問看護に従事又は従事を希望する看護師	3,000	6/1 ～ 6/30
108	訪問看護専門分野研修 (終末期看護)	7月23日(火) ～ 10月9日(水)  5日間	看護研修 センター  20名	在宅療養者に関わる看護師等が、終末期にある患者と家族のQOL向上を目指した療養生活を支援する方法と看取りについて理解する	在宅療養者への訪問看護に従事又は従事を希望する看護師	3,000	5/1 ～ 5/31
109	訪問看護専門分野研修 (精神)	11月13日(水) ～ 1月15日(水)  5日間	看護研修 センター  20名	精神障がい者等に関わる看護師等が、精神看護の専門的知識及び技術を習得し、質の高い訪問看護を提供する	在宅療養者への訪問看護に従事又は従事を希望する看護師	3,000	9/1 ～ 9/30

# 第55回いばらき看護の祭典

## ～看護の心をみんなの心に～

県民誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らしたいと願っています。  
私たち看護職は、その人がその人らしく健康で幸福に暮らせるよう支援することを使命と考えています。

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、助け合いの心を私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。こうした心を老若男女問わず誰もが育むきっかけとなることができるよう、また、気軽に看護にふれていただけることを目的に、「いばらき看護の祭典」を下記により開催します。

- 1 **開催日時** 2019年5月18日(土) 12:00～15:30  
(※ロビーイベント 10:00～)
- 2 **会場** 茨城県立県民文化センター 大ホール
- 3 **プログラム**
  - 【キャンドルサービス】 茨城県結城看護専門学校
  - 【式典】 主催者あいさつ  
来賓祝辞  
茨城県優良看護職員知事表彰
  - 【アトラクション】  
水戸商業高校 ダンス部「ブルトゥインクルス」
  - 【特別講演】  
「自分らしく、誰とどこで生き抜くか」(仮)  
講師：ホームオン・クリニック  
院長 平野 国美氏



## 第11回いばらき看護職合同進学就職説明会 報告

看護学生及び潜在看護職員に対しての就業支援策として、求人施設側との就職面談や相談、その他求人情報の提供等を通じて、就労の促進と医療機関で働く看護職員の確保及び在宅医療を担う看護職員の確保を図ることを目的に就職説明会を開催したので下記のとおりご報告いたします。

- 1 **開催日** 平成31年2月9日(土)
- 2 **場所** フェリヴェールサンシャイン 水戸市白梅2-3-86 TEL 248-1122
- 3 **内容**
  - 第1部 看護師国家試験対策講座 11:00～12:00  
講師：さわ研究所 代表 さわ和代氏
  - 第2部 合同進学就職説明会 12:30～15:30
- 4 **参加者数**
  - 第1部 看護師国家試験対策講座 参加者：26名
  - 第2部 合同進学就職説明会 参加者：52名

※内訳：看護職7名、大学生7名、看護学生26名、高校生5名、一般4名、不明3名
- 5 **参加施設** 48施設  
※内訳：病院42、訪問看護ステーション1、特養・在宅看護2、看護師等教育施設3

- 企画2年目の国試対策講座を実施。昨年度より2名多い出席者26名であった。
- 当日は、茨城県内大雪にて、キャンセル施設が3施設あり、国試対策講座キャンセル者は11名となり残念であった。
- 広報については、県内看護学校等と、水戸・ひたちなか・土浦市内の高等学校へも出向き、周知・出席の依頼をした。

2015年10月の「看護師等の人材確保の推進に関する法律」の改正により、「定年退職される方」「転職される方」など、現在お勤めになられている医療機関等を離職される場合は、ナースセンターに届けることが努力義務となっております。

年度切り替え時には、退職や転職が多い時期ですので、届出をお忘れなくお願いいたします。

お持ちのスマートフォンやパソコンから、「とどけるん（看護師等の届出サイト）」にアクセスしてご登録くださいますようお願いいたします。

また、勤務先の医療機関等による代行での届け出も可能となっておりますので、看護部長等看護管理者の方に代行届出を申し出ていただくことも可能です。

ご不明な点がございましたら、茨城県ナースセンター（Tel 029-221-7021）にご連絡ください。

■とどけるん（看護師等の届出サイト） <https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>



## 看護職のキャリアと働き方応援サイト「ナースストリート」を 開設しています

看護職のキャリアと働き方応援サイト「ナースストリート」は、ライフサイクルやライフスタイルに合わせた働き方・働く場所を紹介しています。

あなたのキャリアを活かし繋げていくために、このサイトをご活用ください。

■ナースストリート <https://nurse-st.jp/>



## 平成30年度 理事会報告

## ■第6回 平成31年2月15日(金)

## ■協議内容

- 1 事業報告(10月～12月) 承認
- 2 2019年度事業計画(案)について 継続協議
- 3 2019年度教育計画(案)について 承認
- 4 予算執行状況について 承認
- 5 2019年度予算(案)について 継続協議
- 6 研修受講料の見直しについて 承認
- 7 認定看護管理者教育課程細則改正(案)について 承認
- 8 2019年度優良看護職員表彰候補者の推薦について(案) 承認
  - ①茨城県知事表彰
  - ②茨城県看護協会会長表彰
- 9 2020年度日本看護協会代議員及び予備代議員理事会推薦枠について(案) 承認

## ■報告事項

- 1 第55回いばらき看護の祭典について
- 2 都道府県看護協会広報担当役員会議報告
- 3 国体・障害者スポーツ大会における救護所等に配置する看護師等確保協力体制について
- 4 地域医療構想調整会議での検討内容の報告



## ■第7回 平成31年3月15日(金)

## ■協議内容

- 1 2019年度事業計画(案)について 承認
- 2 2019年度通常総会プログラム(案)について 承認
- 3 2019年度職能集会プログラム(案)について 承認
- 4 2019年度収支予算(案)について 承認
- 5 2019年度資金調達及び設備投資見込み(案)について 承認
- 6 就業規則の改正(案)について 承認
- 7 事務決裁規程の改正(案)について 承認
- 8 給与規程の改正(案)について 承認
- 9 事務局組織規則の改正(案)について 承認
- 10 看護研修センター研修室利用規程の改正(案)について 承認

## ■報告事項

- 1 日本看護協会平成30年度第6回理事会報告
- 2 2019年度日本看護協会会長表彰者の決定について
- 3 第55回いばらき看護の祭典について
- 4 都道府県看護協会訪問看護担当者会議報告
- 5 地域医療構想調整会議での検討内容の報告
- 6 国体・障害者スポーツ大会における救護所等に配置する看護師等確保協力体制について
- 7 平成30年度訪問看護ステーション機能強化事業成果報告会
- 8 平成30年度茨城県看護協会加入促進に向けたアンケート調査について

## お詫びと訂正

看護いばらき123号8ページ地域包括ケア病棟の紹介において一部誤りがございました。

誤) 牛久病院 ➡ 正) 牛尾病院

牛尾病院の皆様並びに茨城県看護協会員の皆様には、ご迷惑をおかけしました。

訂正のうえお詫び申し上げます。

## 編集後記

茨城県はイチゴの生産量全国8位ですが、2007年に誕生した幻のひたち姫なるイチゴがあります。ビタミンCが豊富である他、抗酸化物質として知られているポリフェノールの一種であるアントシアニンを含んでいます。みなさん健康と美容に気を付けて、新人を迎える準備をしましょう。

広報委員会一同